

# 上越でも戦争法案反対の大規模集会開催へ



8月30日午後3時から「かに池公園」で

上越地方でも戦争法案反対の大規模集会、パレードを行うことになりました。8月30日午後3時から「かに池公園」で1000人規模の集会を開催し、その後、パレードすることになったのです。この集会、パレードの実施については昨年に立憲主義と憲法9条を守る集会を開催した平和環境労組、地区労連などによる実行委員会が7月27日、決めました。この実行委員会では冒頭、呼びかけ人の一人である馬場秀幸弁護士が挨拶し、「この間の国会論戦や国民の運動などで戦争法案反対の運動は大きく広がってきている。憲法学者の中で反対の声が圧倒的になってきているのは、ここで止めない」と憲法研究ができなくなってしまうという危機感が強いからだと思う。上越市内でも弁護士さんたちが先日、13人で街頭から反対を訴えた。またレッドアクションなどの行動も広がっている。ムチャクチャな法案がおつたら世の中もムチャクチャになる。より効果的に運動を盛り上げていきたい」とのべました。

これを受けて市内の各団体代表からは、「レッドアクションを実行委員会方式に発展させたいところ、見知らぬ人からも電話がかかってきて、参加者も増えている」「山麓線沿いの交差点で9のつく日にスタンディングをしていくが、2000台からの車にアピールできる。手ぶりなども増え、関心が高まっている」「いろいろな団体がバラバラにスタンディ

## 今年も賑やかに大島祭り

26日、吉川区尾神からトンネルを通過して川谷に抜け、大島区の大島まつりを見に出かけてきました。

同区は人口減少が進んだ小さな地域自治区ではありますが、こういうまつりではとても元気です。久しぶりに再会する人が多く、「元気かね」「がんばってね」などとたくさんの方から声をかけていただきました。「いまの政治、どう見たっておかしいよ。もっと下々の人の意見を聴くべきだよ」と言って来た人もいました。スイカやうどんなど美味しかったです。



## 江村息吹選手、大健闘

今年の高校野球、新潟県大会に注目しました。先日はめずらしく

上越大通りでいっせいスタンディングを行うことなどを決めていきます。次回の実行委員会により詳しいことが決まります。上の写真は7月18日のレッドアクションです。

「出回っているものよりも短くて、わかりやすい署名用紙を作り、大いに活用できるようにできないものか」など次々と報告や提案がありました。



【オクラ】アオイ科の食用植物。黄色い花をつけます。花は夜から朝にかけて開き、昼にはしぼんでしまいます。実はご存じの通り、夏に欠かせない野菜のひとつです。写真は早朝、吉川区代石の森口久美夫さんの畑で撮ってきました。

ラジオ観戦しました。中越対北越戦を聴いたので。じつはこの試合で北越の2年生ピッチャーとして活躍していた江村伊吹選手は吉川中学校出身で、私の従弟の子どもなのです。江村選手はこの試合、雨という悪条件の中、なかなか制球が定まらず苦戦、でも最後までよく頑張ってくれました。来年は球場に出かけて応援したいと思っています。楽しみな選手が身近に出てきてくれるととてもうれしいです。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1718 2015.8.2

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三六六回

## 絵手紙展

ここ二、三カ月、毎週金曜日に私のところに絵手紙を送ってくださる方があります。上越市高田在住の吉田洋子さん、農協や市内の女性グループなどで絵手紙の指導をしてこられた方です。

送られてくる絵手紙は季節の風景、身近に咲く花、野菜、果物などが描かれた素敵な作品ばかりです。ただ最近の作品には、安保法制関連法案をめぐる激しい政治的な動きを反映し、それらを描いたものもいくつか送られてきています。

絵手紙ですから、筆やペンで書かれた短いコメントがあります。ふるさとの山、頸城三山を描いた作品には、「どこからながめても我が山とだれもおもっている山、きょうだけひとりじめです」というコメントが絵のタッチと合わせてペンで書かれています。ピンクのベニバナを描いた作品では、「めずらしいピンクの紅花だからといただきました。心の中まで彩るやさしいピンク。ハガキでおすそ分け」とありました。いずれも吉田さんらしいかわいらしさがあって、絵手紙ならではのアピール力がありました。

送られてくる素敵な絵手紙を自分たちだけで観るのはもったいない、そう思った妻は、私の事務所の玄関に展示してくれました。しかし、観てくださる方は私に用事がある人などに限られます。「もっと多くの人に観てもらえるようにしたい」との思いから、先日、どさん娘ラーメン安塚店に展示してもらえるかどうか打診しました。そうしたら、「ぜひお願いします」と快諾してくださったのです。

翌々日の夕方、私は吉田さんからの絵手紙を持って、どさん娘ラーメン安塚店を訪ねました。店内にはカウンター席に私の知っている常連客さんがいるだけで比較的すいていました。絵手紙を展示させてもらうにはいいタイミングです。

展示の準備作業では、お店のマスターからも協力していただきました。一番奥の座敷の壁に貼ってあったポスターなどを外しはじめたところで、カウンター席のお客さんから、「生ビールの宣伝は残しておいた方がいい」とアドバイスがありました。それで、壁の中央部のやや下にあった「生ビール550円」という貼り紙を一枚だけ残し、あとは大小様々な絵手紙を画鋏で留めました。貼り終わってから、離れて作品群を眺めると、この生ビールの貼り紙に違和感がありません。それどころか、この貼り紙があるからこそ、絵手紙がぐつと引き立ちました。

作業が終わってまもなく、私はスマートフォン（多機能携帯電話）で写真を撮り、展示された作品の写真をフェイスブックという投稿サイトに載せました。写真の左端にはお店のマスターの姿も入っています。

マスターは、投稿写真が映し出された私のスマートフォンの画面を見ながら、東京在住の娘さんのところへ電話をかけました。「フェイスブックに載ってるから見てくれ、橋爪さんのところ……載ってるだろー。どうだ、店が明るくなっただろ。生ビールの宣伝もバッチリだし、それにお父さんはイケメンだろ……。こういうときはお父さんを持ちあげるもんだ」じつにうれしそうでしたね。

ラーメン屋さんのお店に一角ではじまった「吉田洋子さんの小さな絵手紙展」。展示した翌日には、お客さんからの提案もあり、すだれを横にして、その上に作品を展示しました。涼感もあってとてもいい雰囲気を出しています。絵手紙展はお店が休みの月曜日を除く日の午前十一時から午後九時まで開いています。期間は八月末まで。どんな人が観てくださるか、どんな感想を寄せてくださるか、楽しみです。

## 「アラヤシキの住人たち」を観て思うこと

7月26日、午後からドキュメンタリー映画、「アラヤシキの住人たち」を観てきました。映画の宣伝文句は、「世界はたくさん、人間はみな他人」。長野県小谷村の真木とい

う、車も行かない山奥の集落での様々な人たちの共同生活を描いています。

映画は、山間地での昭和30年代の暮らしと何となく似ていましたね。

ヤギがいて、ニワトリがいて、もちろん人間たちもいる暮らし。稲の脱穀作業を見つめるヤギの目がやさしくてよかったし、ヤギの仔が生まれるときに、ニワトリが鳴くなんて涙が出そうになるほど懐かしくて、素敵でした。刈り取った稲束をハサにかけるとき、「シュワツチ」とか言って投げたのは私のときもそうでした。

「アラヤシキの住人たち」の暮らしのなかには必死に生きる人間の姿があり、音楽もありました。不便な暮らしのように見えるけれど、人間も自然も大切にしている本当の人間らしい暮らしがあると思いました。実際の暮らしでは、宮嶋信さんがおっしゃっていたように、毎日のよ

うに争いがあり、葛藤もあるのでしよう。でも、一緒に住む人たちの中では、争っても支え合いがあります。一人ひとりが人間として生きているのがよく見えました。

上映後のトークはアラヤシキの住人として5日間暮らしたことがあるという「森のようちえんてくてく」の小菅江美さんが聞き役でした。とてもいい感じで、宮嶋さんの言葉を引き出すことができたのは、森のようちえんと共通項があるからかなと思いました。



写真は小菅江美さんと宮嶋信さんのトーク

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月22日(水)	7月29日(水)
上越南消防署	0.040	0.043
上越北消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.047	0.047
高士分遣所	0.040	0.045
名立分遣所	0.057	0.053